



空から見た寄居町役場周辺



つくいやすお 議員 津久井康雄

町長の行政運営について

答弁⇒適切に運営しています

問 町長の後援会の幹部役員が全員退会した旨の書面を見た大勢の町民の方々から、「真実を究明してください」と言われていますので、何点かお聞きします。

町職員の採用方法と2年続けて2次募集を行っている理由と結果を伺います。

答 職員採用は競争試験により行っています。2次募集は応募者の増加が目的で、平成23年度は第1次56名、第2次165名。平成24年度は第1次53名、第2次164名の応募がありました。平成25年度は今後検討します。

指名委員会の運営は

問 指名委員会について伺います。現在どのような運営がなされているのか。A・B・Cにランク付けされているようですが、最近の入札を見るとBランクの落札が多いようです。後援会の書面では「指名委員会の決定を全く無視し町長が独断で指名した業者を入れての入札行為、いわゆる天の声で決まっている」とのことですが、このようなことがあるのか伺います。

答 寄居町請負等業者指名選考委員会規則に則り適切に運営をしています。

問 小中学校に出向きあいさつ運動を指導していますが、書面では「町長は出勤時にみずからのあいさつはほとんどないが、職員のあいさつには厳しい批評をする」とあります。このような人があいさつ運動を指導する資格があるのか伺います。

答 あいさつの大切さを実践しています。

行政運営

委員会報告

文教厚生常任委員会

研究テーマ

地域支えあい活動について

よりよい地域支えあいを目指して

7月23日、担当課（社会福祉協議会）から、地域支えあい活動の現状や今後の課題などについて

説明を受けました。

- ・地域支えあいの会の立ち上げ、及び個人情報等の見守り活動の問題点
- ・見守りが必要な高齢者の把握
- ・配食サービスの現状及び問題点
- ・孤独死・孤立死の現状
- ・支えあい活動の地域差や問題点
- ・支えあい活動の対象と「赤ちゃん事業」

各委員会ではそれぞれテーマを掲げて調査・研究に取り組んでいます。その審議内容が委員長から本会議で報告されました。（内容を抜粋してお知らせします。）

- ・「個人情報課題」という声は会員からも多い。しっかりと対応しているところを視察してはどうか。
- ・支える人、担い手として元気な高齢者が活躍している自治体を視察したい。
- 等の質問・意見がありました。協議の結果、次回は先進地を視察することを決定しました。

総務経済常任委員会

研究テーマ

土地利用計画について

7月30日に担当課より、土地利用構想・都市計画の現状、企業誘致推進計画について説明を受けた後、委員から意見を聞きました。

- ・寄居パーキングエリアスマートインターチェンジが平成28年度に開設される。周辺の土地利用を研究課題にするのが時期的にもよい。
- ・寄居パーキングエリアスマートインターチェンジは3市町で取り組んでいる事業であり、研究・提言していくことが重要である。
- 等の意見があり、寄居パーキングエリアスマートインターチェンジを中心とした土地利用計画に絞り、調査・研究を進めることとしました。

波志江パーキングエリアスマートインターチェンジを視察

8月23日、伊勢崎市・波志江パーキングエリアスマートインターチェンジ周辺の土地利用計画について視察しました。

・パーキングエリア周辺の整備方針
計画当初は「ハイウェイオアシスを整備する



伊勢崎市役所にて

観光・集客拠点」と位置づけられていたが、途中で構想・計画修正があり、「市の役割は民間事業者が開発を行うために必要なインフラの整備を担う」となった。
・パーキングエリア周辺の整備実績、利用状況
現状では、農用地除外に至っておらず、特別な進展は見られなかった。平成25年6月の調査では1日当たり3038台の利用があった。

第5次三ヶ山地域開発調査特別委員会

「運営協定」締結・見直しの説明を受ける

7月25日に、埼玉県から彩の国資源循環工場第2期事業者との運営協定の締結と、彩の国第1期事業者との運営協定の見直しの説明を受けました。



8月に町・県・事業者・地元協議会で運営協定を締結

- ・大型車の夜間通行による騒音・振動対策
- ・悪臭対策としての臭気測定回数増加の見込み
- ・工場運営協定書第17条「資源利用及び施設等の連携」の考え方
- ・構内道路の町移管後の保安対策
- 等の質疑があり、引き続き調査研究することを決定しました。